

日本物理学会物理学史資料委員会ニュース

No. 9

編集・発行 日本物理学会物理学史資料委員会

2025年2月16日

一般社団法人 日本物理学会 物理学史資料委員会では、年3～4回の委員会議において、主として日本国内の物理学史資料の保管・収集などに関して情報交換を行っています。『日本物理学会物理学史資料委員会ニュース』は、その情報の一部をウェブ上で紹介するために刊行されています。

正確な内容をお届けするよう心がけますが、同委員会の委員の報告をもとに速報性を重視した構成とするため、情報が十分でない可能性があります。詳細については、関連する機関等に別途ご確認いただけますようお願い申し上げます。

《目次》

- 蒲生秀也氏関連書簡について
- 福山秀敏氏旧蔵の資料について
- 田中館愛橘の書簡について (原稿受付順)

● 蒲生秀也氏関連書簡について

蒲生秀也氏関連書簡（来信、英文）は、資料の状態からみて撮影よりはスキャンによるデジタル化が適しており、着手した。今年度中には終了する予定である。件数は100程度に上るものと思われる。

(岡本拓司委員)

● 福山秀敏氏旧蔵の資料について

東京大学の物理学教室のアーカイブにあった福山秀敏氏旧蔵の資料は、廃棄予定であったが、学会事務局に移された。今後については物理学史資料委員会の検討に委ねられるも

のと思われる。二群あり、いずれもファイルごとに内容の目録が付されている。一つは、「久保亮五先生の論文」と記された A4 のファイルが 8 冊、久保亮五の 1937 年から 1973 年までの論文のコピーで、段ボール箱 1 つに収められている。もう一つは、「高温超伝導」と記された A4 のファイルが 30 冊、1986 年 12 月 9 日から 1987 年 11 月 7 日までの、高温超伝導関連のプレプリント、研究会案内、論文等のコピーが主体である。

(岡本拓司委員)

● 田中館愛橋の書簡について

田中館愛橋の個人資料は地元である岩手県二戸市の田中館愛橋記念科学館にまとめて収蔵されているが、一部の書簡は盛岡市の「盛岡てがみ館」に寄贈されているようである。同館ウェブサイトによると、2024 年には遺族から新たに寄贈された書簡を含む企画展「物理学者・田中館愛橋のてがみⅡ」が開催されている。

(有賀暢迪委員)